

縄南中通信



平成28年 3月 1日 発行

2015年度 第11号

「返事！あいさつ！声！ダッシュ！！」

東大阪市立縄手南中学校

校長 日比野功

教育活動の重点キーワード

「縄南道」の形成、「心・技・体」の研鑽

「縄南道」に誇りを持って、前進あるのみ！夢を掴め！

3月11日（金）、本校の第28回卒業式が挙行されます。本校は今年度で創立29年目を迎え、4月より創立30周年の年となります。開校時は1、2年生のみの生徒であったため開校初年度は卒業式がありませんでしたので、今年度の卒業式が第28回となります。先日の全校集会でも話しましたが、縄手南中学校では「人格形成」を基本に3年生が中心となり多くのことを積み上げて来ました。縄手南中学校での「人格形成」は「縄南道」と呼んでいます。これは、日頃から伝えているように「勝因」となる「一生懸命」「ていねい」「ひたむき」を意識し、「敗因」である「いい加減」「適当」「だいたい」を自らの「意志」で歯をくいしばって「勝因」とできるように「人格」を磨こうということです。また「勝因」の中で、いますぐ実行すべきことが「返事！あいさつ！声！ダッシュ！！」であります。そして当たり前のことですが、人として「心・技・体」のすべてを磨かなければなりません。「縄南道」では「心・技・体」の研鑽ということを教育活動の重点キーワードとしています。「心」は「本気のやる気」、「技」は「学んだことを磨く努力」、「体」は「生活習慣から成り立つもの」ですから、これらはすべて「人格形成」そのものです。

3年生はあと少しで次の新しい世界に羽ばたくこととなりますが、この「縄南道」で学んだことを次のステージで大きく膨らませ、自らの研鑽をし、今後も美しく輝いて行って欲しいと思っています。中学校での3年間で伝えてきた「縄南道」、とりわけ「返事！あいさつ！声！ダッシュ！！」は間違いなく大人になっても通じることです。「勝因」を徹底することにより、君たちの将来で「奇跡の起こる確率」は必ず増えるはずです。なぜなら「奇跡」は起こるものではなく起こすものだからです。夢はじっと待っていても掴めるほど甘くはありません。縄南道集会に招聘した方々もお話されていたように夢は掴みに行くものなのです。夢を夢で終わらせるのではなく、「夢は叶えるもの」です。それが「縄南道」が伝えたいことの1つです。3年生は高校生や社会人になったら、その新しい世界で一番素晴らしい「返事！」をしてください。一番素晴らしい「あいさつ！」をしてください。一番素晴らしい「声！」を出してください。そして誰よりも素早く一番素晴らしい「ダッシュ！」を心掛けてください。そして在校生は必ず3年生を抜きましょう。「返事！あいさつ！声！ダッシュ！！」目指すは「日本一」です。

1年生スキー林間、今年も「縄南道」の精神でがんばってきました。富士山もみえました。

2月7日（日）～9日（火）の2泊3日で、今年も長野県白樺湖方面ブランシュ高山スキー場へスキー林間に行ってきました。お世話になったホテルの方々やインストラクターの方々、また旅行者の方からも先輩同様、今年もいろいろなお褒めをいただくことができました。スキー林間ではスキーの技術を習得し、スキーの魅力にも出会い、スキーを生涯スポーツとして取り入れるきっかけとなればよいということも含み実施していますが、それだけではなくマナーや礼儀、集団としての

在り方といった普段の学校生活でこだわろうとしていることを、このような行事を通して大切な学ぶ機会としています。縄手南中学校の生徒を迎えるにあたり、現地の方々がどのような打ち合わせや動きをしてくださっているかといったことも考えながらの体験行事です。今年度は2日目の午後には全員山頂からの滑走もでき、天気がよかったこともあり山頂からは富士山や八ヶ岳連峰も綺麗に眺めることができました。インストラクターの方は、2日目の午後に全員山頂に行けたのは、「小学校の時に1日でも経験していることがよかったですね。」と話されていました。



山頂リフト降り場付近の様子

ゴードマウンテン凱旋ライブ 2016. 02. 12

全員21歳の大阪在住のロックバンドであるゴードマウンテンが卒業生へのプレゼントも兼ね本校体育館で全校生徒へライブを披露してくださいました。メンバー4人のうち3人は縄手南中学校の卒業生で母校での凱旋ライブとなりました。感情で歌詞を歌うというゴードマウンテンの皆さんの音楽と後輩へのメッセージを頂きました。



「品を磨く」～旭堂南青さんのお話より～

本校アドバイザースタッフである上方講談師の旭堂南青さんより先日の全校集会で「品(しな)を磨く。」というお話を聞きました。学習指導要領では「知・徳・体」をバランスよく育てることが大切であると示しています。南青さんは、その中でも講談を通して主に「徳育」に関する分野の指導をしていただいています。縄手南中学校で実践する「縄南道」は当たり前のことを当たり前に行うことの学習であり、大人になっても本当に大切なことであると話されました。この日は「言葉使い」について教えていただきました。先生に対する言葉使いをもっときちんとするべきで、先生と生徒がフレンドリー

に接することは良いが、慣れ慣れしいこととは全く違うということを伝えられていました。「人は品(ひん)が良くないといけない。それゆえに言葉使いというものはとても大切なものである。」と教えて頂きました。芸の世界では「徳育」を高めることを「品(しな)を磨く。」というそうです。日本一を目ざす縄手南中学校にとって、とても大切なことだと感じました。

縄手南小学校6年生が体験登校をしました。

1年生がスキー林間に出かけている間、その教室を使って、2月8日(月)に縄手南小学校6年生が朝から3時間、中学校に登校して小学校の先生の授業を受けました。中学校に入学するにあたり中学校の学校生活を体験するというのが目的です。この日は2時間目に弁護士の先生をお招きし、学校生活においてどのような行動が「いじめ」に当たるのか、また、その責任をどのように負わなければならないのかといったことを法律の観点から、中学2、3年生と小学校6年生に伝えて頂きました。小学生の感想からは、「中学生のきびきびした素早い行動がかっこいい。」という意見も多くあったそうで、早く中学校に入学したいと感じてくれていた児童もたくさんいたそうです。

クラブ等の主な記録

全国納税貯蓄組合連合会・国税庁主催 「税についての作文」 優秀賞 田熊里登峰(3年)

女子バスケット 第20回東大阪カップ 2位トーナメント 第3位

バドミントン 第24回東大阪府中学校総合体育大会

2年生大会男子シングルス 3位 中野慎、三輪陸、

男子ダブルス 2位 南野智也・大石明広ペア、3位 菊田祥希・笹倉和馬ペア、